

日本教育保健学会
2023-2025 年度 共同研究者の募集

- テーマ： 子どもが求める学び環境の教育保健学的探究
- 研究期間：2023 年～2025 年
- 趣旨

新型コロナの流行により、子どもたちを取り巻く環境は大きく変貌しとりわけ前倒して行われた ICT 教育は、その準備も不十分なまま様々な問題を抱えながら加速している。また、コロナ禍の中で子どもたちの生活も大きく変わり、心身の健康問題は視力低下やネット依存、自殺の増加、新たな様相を示す不登校の問題など学校教育が抱える課題は大きい。

2021・2022 年度の研究では、「教育保健学的な視点から見た学校の存在意義」について、子どものからだや生活についての実態調査による実態研究グループ、不登校経験者を対象とした実践や保健室・養護教諭による実践を検討する実践検討グループ、さらに学校の歴史を教育保健学の視点で検討する歴史研究グループに分けて追究してきた。そしてここでは、子どもが求める学校や学校が果たす教育保健的機能の実態、子どもが人間らしく育っていけるような保健室のあり方や種々の実践、子どもの「生きづらさ」と教師の「やりがい」に影響している歴史社会的背景等が明らかになり、教育保健学的な学校の存在意義が示された。

しかしながら、日本の現状に目を向けると、子どもたちが求めているそのような学校の具体化には多くの課題が山積している現状がある。子どもの自殺や不登校、いじめ等に関する日本の現状はそのことを如実に示唆している。そのため、次の3年間では子どもが求める学び環境を教育保健学的に探究することを目的に、ICT 教育一学級の適性人数や、教室座席等といった公教育の実態に関する国際比較やその実験的検討、さらには養護教諭の複数配置等を実現するための課題等に関する検討を行いたいと考える。

研究体制や研究方法については、今後研究委員会で原案を作成し提示する予定。

- 研究メンバーの募集 2023 年 8 月末～9 月末日
* 教育保健学会の会員であればどなたでも応募できます。

- 応募先及び問い合わせ先

宍戸 洲美（日本教育保健学会 研究委委員長）

shisumi@nifty.com TEL 090-3049-0662

- 第 1 回共同研究会議 2023 年 11 月 19 日（日）10：30～12：00
会場 日本体育大学（ハイブリット）

- 研究予算 2023 年度 20 万円
- 予算使途 報告書の作成・会議費・講師謝礼等
尚、原則として旅費等は支給しない。